

議会報告会 会場報告書

担当班：2班 班代表者：恒田正美

概要			
地区名 : 城南地区 日時 : 平成28年11月25日(金) 19:30~21:00 場所 : コミュニティセンター城南会館 参加人数 : 12人(男10人・女2人)	【出席議員】 恒田正美 河南克典 足立義則 前田えり子 栗山泰三 大西基雄	(1) 開会あいさつ : 恒田正美 (2) 議会報告 : 足立義則 (3) 質疑応答 : 下記参照 (4) 意見・提言等 : 下記参照 (5) 閉会あいさつ : 河南克典	挨拶・総括 : 恒田正美 司会進行 : 河南克典 報告 : 足立義則 受付・記録 : 前田えり子 栗山泰三 会場(マイク) : 大西基雄

【主な質疑】

質疑・意見	回答
・財政再建の取り組みについて、平成31年には市財政の収支バランスがとれると聞いているが、その通りに進むのか。	・財政再建に対しては、市長も強い思いを持って取り組んでおり、計画どおり財政再建が進むように、議会としても監視の目を緩めることなく取り組んでいきます。
・要望書について、市長、議長、教育長の三者に提出するのがよいのか。判断の基準はどのようになっているか。	・市長、議長あてに提出するのが一般的です。なお、請願の場合は、議員の紹介が必要です。また、市長が開催しているいちばん会議や、この議会報告会等の機会も利用していただけたらと考えます。

質疑・意見	回答
<ul style="list-style-type: none"> 全国的に地方の自治体は、人口減少や加入率の低さ等により、下水道事業特別会計が非常に厳しい状況であるが、篠山市の状況は。 	<ul style="list-style-type: none"> 下水道会計はとても苦しい状況にあり、法的に認められているものは全て一般会計から繰り入れています。対策として、現在の 27 下水道処理施設を 11 施設へ統廃合するように進めています。上水・下水道ともに課題が多いことから、議会としても注視していきます。
<ul style="list-style-type: none"> ゴミ焼却灰の処理はどのようにしているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 近畿圏内の自治体の共同事業として行っている神戸沖にある埋立地へ焼却灰は持って行き処理しています。
<ul style="list-style-type: none"> 平成 8 年の水害以降、引き続き、砂防ダムについての要望も行っており、優先順位もあり厳しいかと思うが、対応をしていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 持ち帰り、執行部にお繋ぎします。
<ul style="list-style-type: none"> 予算面等は大変ではあるが、子育て支援についての取り組みをお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援については、議会においても提案しています。
<ul style="list-style-type: none"> 保育士について、正規職員を増やしていくとの市長の答弁において、正規と非正規職員のバランスはどれぐらいが適当か。保育士確保について、450 人の枠を外し、正規職員として採用した場合、将来的に子どもの数が減り、保育士が余ると、事務職として勤めなくてはならない状況も起こることから、正規職員と臨時職員のバランスも考えて対応する必要があると考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 持ち帰り共有します。
<ul style="list-style-type: none"> 市道において、立木により信号機が見えず、トラックが枝を撥ねながら走行するという状態になっていたことから手入れを行ったが、危険も伴うため、草刈だけでなく、高い位置の作業についても補助をしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 持ち帰り、執行部にお繋ぎします。
<ul style="list-style-type: none"> 空き家を壊すと税金が高くなると聞かすが、更地にした場合は、土地の課税地目を原野に変更してもらえないか 	<ul style="list-style-type: none"> 持ち帰り、執行部にお繋ぎします。

質疑・意見	回答
<ul style="list-style-type: none"> 市道大沢新栗栖野線はいつ供用開始となるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 来年春に供用開始と聞いています。
<ul style="list-style-type: none"> 国道 372 号線から国道 176 号線へ左折する際の信号機に、以前あった左折信号が今はないのはなぜか。 	<ul style="list-style-type: none"> 当時は、国道 176 号線から国道 372 号線に右折する際の右折信号もあり、当該右折信号が青に点灯している間は、指摘の左折信号も青に点灯するというものでした。現地を確認しますと、今は、指示信号ではなく、信号の時差を利用して、自動車を誘導しています。変更理由について、警察に確認したところ、176 号線から 372 号線へ右折する自動車の渋滞を緩和させるためとのことでした。
<ul style="list-style-type: none"> 若者が農業をして良かったと思えるような取り組みをしてほしい。安心して生活が送れるよう農地を守っていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 市全域における課題であり、先進地事例等を参考にしながら、議会においても引き続き注視していきます。
<ul style="list-style-type: none"> 阪神・淡路大震災の時に、国道 372 号線が迂回路として利用された。そのように迂回路としての役目を果たせるように、市内道路の整備について、県や京都府へ働きかけてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 持ち帰り、執行部にお繋ぎします。

